



金融委員会の活動

2006年9月

XBRL Japan 金融委員会

XBRL Japan金融委員会活動内容の紹介

1. 重点テーマ（配布資料参照）

- 電子申告データの融資業務への活用
- 企業開示データのXBRL化への対応

2. 実証実験

3. 事例紹介

4. 今後の取り組み

金融委員会の実証実験の歩み

■ 第一回（2004年春）

- ・XBRLデータ利用可能性の確認



■ 第二回（2004年秋）

- ・融資業務用のタクソノミ作成



■ 第三回（2005年秋—国際大会で発表）

- ・実際のシステムを使った検証



第四回実証実験の概要

■（実施概要）

- ・ 国税電子申告・納税システム(e-Tax)の申告データおよび電子納税証明書が、金融機関の融資業務等で利用可能であることを実証

■（目的）

- ・ 国税電子申告サンプルデータを参照できる環境を作成、二次利用検討のための情報提供
- ・ さらに、金融機関の融資業務等に利用可能であることを実証、金融機関における国税電子申告データ二次利用の促進を図る（国税電子申告自体の利用率向上へも貢献）

■（実施内容）

① Phase 1

国税電子申告データの財務諸表部分を参照するための手順の紹介、参照用のツールを使用した国税電子申告データの内容確認

② Phase 2

国税電子申告データ・電子納税証明書を利用し、金融機関現行システムへの接続を想定したシステムの構築、および、紹介

③ Phase 3

金融機関での適用に向けた個別検討

■（参加条件）

XBRL Japan会員であること

（XBRL Japanへの入会申込みは <http://www.xbrl-jp.org/howtojoin/> 参照）

金融委員会におけるXBRL活用事例紹介

関係当事者により、詳細にわたる事例の紹介を行う機会を設けている

- ① スペイン中銀とCOREPタクソノミー
 - ② 日銀報告とツール実演
 - ③ 税理士会における電子申告対応
 - ④ 信用保証業務の電子化
 - ⑤ 東証のデータ試験公開とサイト紹介
 - ⑥ SECファイリングの実際
- etc.

金融委員会における今後の取り組み

ユーザーサイドにたつ委員会として実用的な活動を展開していく予定

- ① 実用化促進のための議論
- ② 実証実験の実施
- ③ XBRL動向のフォロー
- ④ 実用化例の紹介
- ⑤ 情報共有の促進